

令和 7 年度

第 2 回鶴見区民アンケート

報告書

大阪市鶴見区役所

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 配布・回答結果	1
4. ご回答いただいた方の基本事項について	2
5. 調査結果の表示方法	4
II 調査結果	8
1. AI オンデマンド交通の社会実験について	8
問1 鶴見区内で AI オンデマンド交通の社会実験が始まっています。（令和 7 年 10 月 28 日から令和 8 年 10 月 27 日まで。最長 3 年間。）あなたは AI オンデマンド交通が鶴見区内を走っていることを知っていましたか？（1 つ選んでください）	8
問2 （問1 で「2 知っているが区内で利用したことはない」又は「3 知らない」と回答された方へ）あなたは、社会実験の期間中に AI オンデマンド交通を利用したいと思いますか？（1 つ選んでください）	9
2. SDGs、花や緑あふれるまちづくり等について	10
問3 鶴見区役所では SDGs の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近な SDGs もありますが、あなたは、日頃から意識して SDGs に取り組んでいますか。（1 つ選んでください）	10
問4 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。（1 つ選んでください）	11
3. まなびを通じたつながりづくりについて	12
問5 鶴見区役所では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。あなたは、鶴見区役所で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。（1 つ選んでください）	12
問6 （問5 で「3 どちらかといえば感じない」又は「4 感じない」と回答された方へ）あなたが、人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。（いくつでも選んでください）	13
問7 鶴見区役所では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。（1 つ選んでください）	14
問8 （問7 で「3 どちらかといえば感じない」又は「4 感じない」と回答された方へ）あなたが、まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。（いくつでも選んでください）	15
4. 地震・風水害等の災害について	16
問9 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。（いくつでも選んでください）	16
問9 選択 1 「食料や飲み水の備蓄をしている」の開始時期	18
問9 選択 2 「家具の転倒防止をしている」の開始時期	19
問9 選択 3 「家の内外に危険箇所が無いチェックしている」の開始時期	20

問 9 選択 4 「家族で避難場所、避難経路を確認している」の開始時期.....	21
問 9 選択 5 「家族や知人との連絡手段・集合場所などを決めている」の開始時期.....	22
問 10 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。（1 つ選んでください）	23
問 11 （問 10 で「2 参加したことがない」と回答された方へ） あなたが、防災訓練に参加しない理由は何ですか？（いくつでも選んでください）	24
問 12 鶴見区役所では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたが知っている防災事業を選んでください。（いくつでも選んでください）	25
問 13 鶴見区役所では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。あなたは、「鶴見区防災計画」などの取り組みを知っていますか。（1 つ選んでください）	26
問 14 鶴見区役所では、大阪防災アプリの活用推奨をはじめ、さまざまな媒体を用いて防災に関する情報発信を行っています。あなたが防災に関する発信方法で有効だと思う媒体を選んでください。（いくつでも選んでください）	27
問 15 あなたは、鶴見区役所で実施している取り組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。（1 つ選んでください）	29
5. 安全で住みやすいまちづくりについて.....	30
問 16 令和 5 年度より自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。あなたは、自転車に乗る時にヘルメットを着用していますか。（1 つ選んでください）	30
問 17 鶴見区役所では、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。（1 つ選んでください）	31
問 18 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（1 つ選んでください）	32
6. 鶴見区全般について.....	33
問 19 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。	33
7. あなたご自身について	35
問 22 あなたの世帯に、現在中学生以下のお子さまはいますか。（1 つ選んでください）	35
Ⅲ 調査票	36
（参考）クロス集計表.....	別紙

I 調査の概要

1. 調査の目的

サイレントマジョリティなど表面化しにくい区民からの多様な意見等の収集・把握 を行い、施策・事務事業を進めるうえでの基礎資料とする。

2. 調査方法

調査期間：令和 7 年 12 月 25 日(木)～令和 8 年 1 月 14 日(水)

調査対象：令和 7 年 10 月末時点で無作為抽出した 18 歳以上 80 歳未満の鶴見区民（外国籍住民を含む）1,000 人

調査方法：調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回答またはインターネットによる回答により実施。

3. 配布・回答結果

配布数：1000 件（うち、郵送不達数 2 件、有効配布数 998 件）

有効回答数：579 件（うち、WEB：190 件、郵送：389 件）

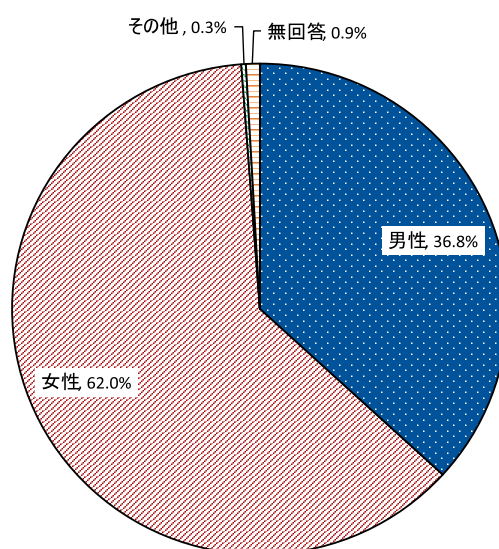
有効配布数に対する回答率：58.0%

4. ご回答いただいた方の基本事項について

性別

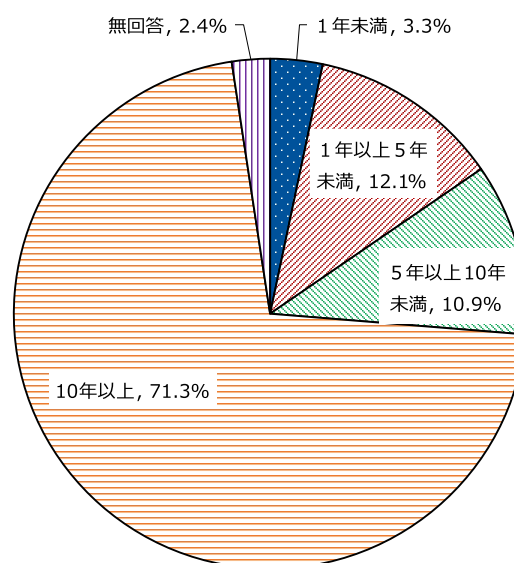
項番	選択肢	回答件数・割合		(参考) 住民基本台帳人口・割合	
1	男性	213	36.8 %	40,412	48.2 %
2	女性	359	62.0 %	43,439	51.8 %
3	その他	2	0.3 %	-	-
4	無回答	5	0.9 %	-	-
合計		579	100 %	83,851	100 %

住民基本台帳人口と比べ、回答者は女性の割合が高くなっています。



居住年数

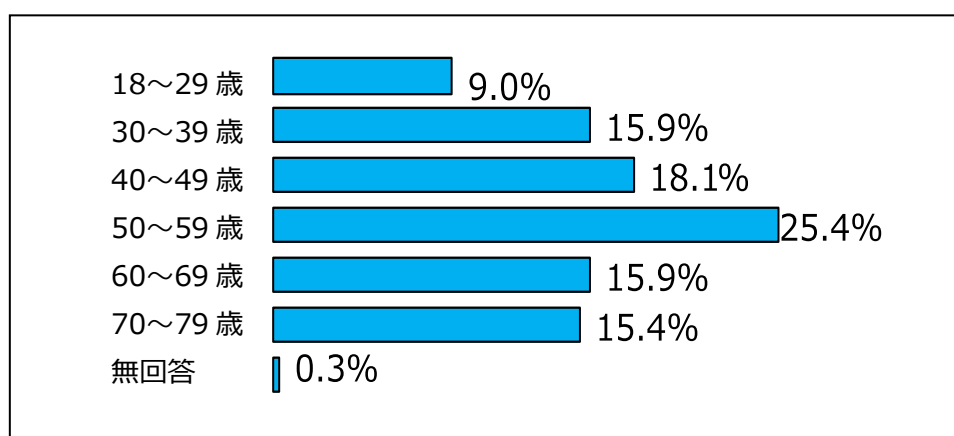
選択肢	件数	割合
1 年未満	19	3.3 %
1 年以上 5 年未満	70	12.1 %
5 年以上 10 年未満	63	10.9 %
10 年以上	413	71.3 %
無回答	14	2.4 %
合計	579	100 %



年齢

項番	選択肢	回答件数・割合		(参考) 住民基本台帳人口	
1	18～29 歳	52	9.0 %	14,284	17.0 %
2	30～39 歳	92	15.9 %	13,338	15.9 %
3	40～49 歳	105	18.1 %	15,222	18.2 %
4	50～59 歳	147	25.4 %	18,334	21.9 %
5	60～69 歳	92	15.9 %	11,895	14.2 %
6	70～79 歳	89	15.4 %	10,778	12.9 %
7	無回答	2	0.3 %	-	-
合計		579	100 %	83,851	100 %

住民基本台帳人口と比べ、18～29 歳の回答者は少なく、50 歳以上の回答者がやや多くなっています。



地域

項番	選択肢	件数	割合	
1	緑地域	99	17.1 %	17.1%
2	鶴見北地域	29	5.0 %	5.0%
3	鶴見地域	63	10.9 %	10.9%
4	榎本地域	73	12.6 %	12.6%
5	今津地域	69	11.9 %	11.9%
6	茨田南地域	38	6.6 %	6.6%
7	茨田地域	34	5.9 %	5.9%
8	茨田東地域	28	4.8 %	4.8%
9	茨田北地域	53	9.2 %	9.2%
10	焼野地域	12	2.1 %	2.1%
11	茨田西地域	31	5.4 %	5.4%
12	横堤地域	32	5.5 %	5.5%
13	分からない	12	2.1 %	2.1%
14	無回答	6	1.0 %	1.0%
合計		579	100 %	

5. 調査結果の表示方法

- (1) 調査結果に示す割合（％）は、有効回答数に対する各回答の割合を算出し、小数点第 2 位を四捨五入したものです。このため、単一回答の設問であっても、合計値が 100%にならない場合があります。また、複数回答の設問については、選択肢ごとの割合を有効回答数に基づき表示しているため、合計が 100%を超える場合があります。
- (2) 回答者数が少数の場合、算出される比率に偏りが生じやすく、集計結果の解釈には注意を要します。

■ 標本誤差について

標本調査とは、標本による測定値（調査結果）に基づいて母集団の特性を推定するものです。

本調査は標本調査として実施したものであり、結果の解釈にあたっては、標本誤差および非標本誤差の双方に留意する必要があります。なお、本調査においては、回答者集団の構成に一部偏りが見られることから、母集団の構成を完全に反映していない可能性があります。そのため、調査結果を母比率の推定値として用いる際には、一定の制約がある点に留意が必要です。

理論的に求められる信頼度 95%における信頼区間の 1/2 幅（標本誤差）は、次式により算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

注：P 回答比率、n 回答者数

■性別・年代別 回答比率ごとの標本誤差

	回答比率(P) 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	579	1.8	2.4	2.9	3.3	3.5	3.7	3.9	4.0	4.1	4.1
男性	213	2.9	4.0	4.8	5.4	5.8	6.2	6.4	6.6	6.7	6.7
女性	359	2.3	3.1	3.7	4.1	4.5	4.7	4.9	5.1	5.1	5.2
18～29 歳	52	5.9	8.2	9.7	10.9	11.8	12.5	13.0	13.3	13.5	13.6
30～39 歳	92	4.5	6.1	7.3	8.2	8.8	9.4	9.7	10.0	10.2	10.2
40～49 歳	105	4.2	5.7	6.8	7.7	8.3	8.8	9.1	9.4	9.5	9.6
50～59 歳	147	3.5	4.8	5.8	6.5	7.0	7.4	7.7	7.9	8.0	8.1
60～69 歳	92	4.5	6.1	7.3	8.2	8.8	9.4	9.7	10.0	10.2	10.2
70 歳以上	89	4.5	6.2	7.4	8.3	9.0	9.5	9.9	10.2	10.3	10.4

※性別の「その他」は回答者数が少なく($n < 30$)、統計的に信頼できる誤差の範囲を示すことが困難なため、当該項目の標本誤差は掲載しておりません。

例えば、問 17 の「鶴見区役所では、さまざまな防犯事業（※）に取り組んでいます。あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。」の結果を見ると、肯定的な意見（「感じる」＋「どちらかといえば感じる」）は女性で 74.9%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値（75%）の「女性」の標本誤差の数値 4.5%です。

■標本の代表性

母比率の推定などの統計的推定を行うためには、標本（回答者集団）が母集団の特性を適切に反映していることが前提となります。本調査では、この点を確認するため、回答者集団の構成比が母集団の構成比と一致しているかについて、カイ二乗適合度検定を用いて検証を行いました。検定における仮説は以下のとおりです。

（帰無仮説）標本の構成比は母集団の構成比と一致している（有意な差はない）

（対立仮説）標本の構成比は母集団の構成比と一致していない（有意な差がある）

有意水準は 5%に設定し、検定から得られる P 値が有意水準を上回るかどうかにより判断する。なお、有意水準とは、帰無仮説が正しいにもかかわらずこれを棄却してしまう確率（第一種の過誤）をどの程度まで許容するかを示す基準であり、本調査ではこれを 5%とした。また、P 値とは、帰無仮説が正しいと仮定した場合に、観測された結果と同程度またはそれ以上に乖離した結果が得られる確率を示すものである。

本検定はあくまで構成比の一致性を検証するものであり、回答結果全体の代表性を完全に保証するものではない点に留意する必要がある。

■母集団の大きさ（N）※令和7年10月末日現在の住民基本台帳人口

(単位：人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
男性	7,022	6,502	7,462	8,908	5,801	4,717	40,412
女性	7,262	6,836	7,760	9,426	6,094	6,061	43,439
合計	14,284	13,338	15,222	18,334	11,895	10,778	83,851

■適合度検定における有効回答者数（n）

(単位：人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
男性	21	33	32	54	33	40	213
女性	30	59	70	93	57	49	358
合計	51	92	102	147	90	89	571

※性別及び年代の適合度検定において、性別（男性または女性）及び年齢の両方に回答が得られた方を分析対象者としています。（性別が「その他」または無回答の方及び年齢が無回答の方については、当該分析対象者からは除外しましたが、その他の集計においては有効回答者として取り扱っています）

■期待値

(単位：人)	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	合計
男性	48	44	51	61	39	32	275
女性	49	47	53	64	42	41	296
合計	97	91	104	125	81	73	571

■適合度検定によるP値の算出

	検定統計量 (カイ二乗値 χ^2)	上側確率 5%点	自由度	P 値
性別	27.13	3.84	1	$1.9 \times 10^{-5}\%$
年齢区分	30.30	11.07	5	$1.3 \times 10^{-3}\%$

性別に関する適合度検定の結果、P 値は $1.9 \times 10^{-5}\%$ であり、有意水準 5%を下回ります。

また、年齢に関する適合度検定の結果、P 値は $1.3 \times 10^{-3}\%$ であり、有意水準 5%を下回ります。

このことから、母集団と回答者の性別及び年齢別構成比に有意な差が認められ、回答者において性別及び年齢別の偏りが生じていると判断される。

■集計・分析上の留意事項

本文中の傾向に関する記載（コメント）は、回答数が確保できる集計を中心に、『全体』および『年齢別』の傾向を記載しています。令和5年度まで記載していた居住年数別・地域別等は階層によって回答数が少なく標準誤差が大きくなりやすいため、令和6年度より本文中の記載を控え、数値は参考資料（クロス集計表）に掲載しています（各区分の件数は表中で確認できます）。

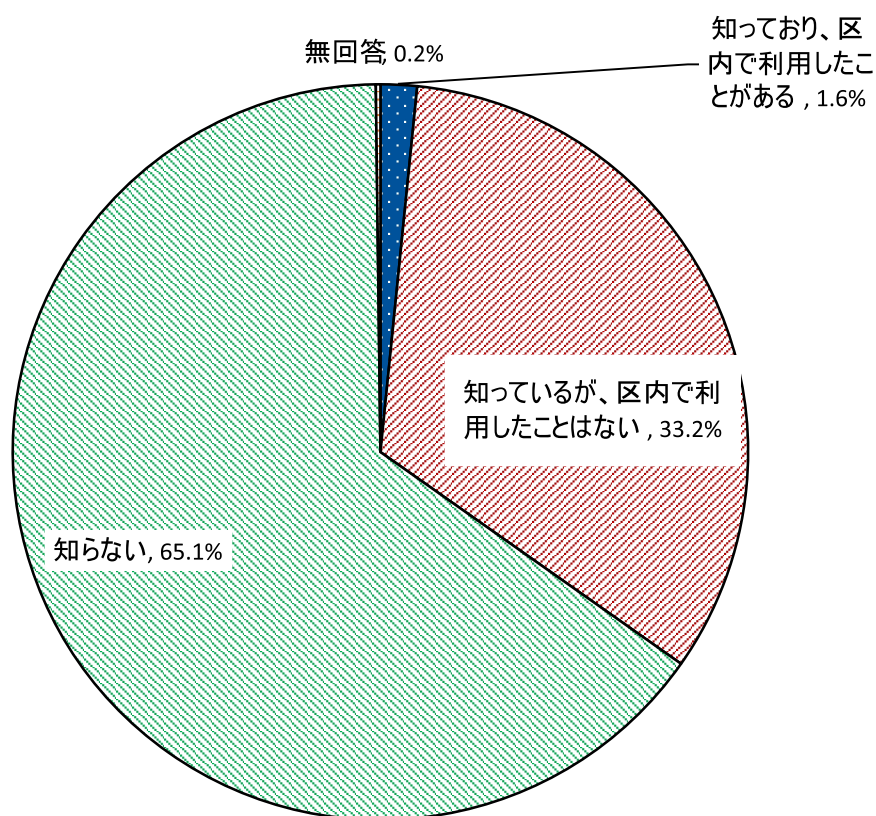
また、回答者を特定の条件で限定した集計（例：設問6のように『感じない』と回答した人のみへの設問）では対象数が小さくなるため、本文の傾向コメントは全体のみとし、年齢別を含む詳細は参考資料（クロス集計表）に掲載しています。

Ⅱ 調査結果

1. AI オンデマンド交通の社会実験について

問1 鶴見区内で AI オンデマンド交通の社会実験が始まっています。（令和7年10月28日から令和8年10月27日まで。最長3年間。）あなたは AI オンデマンド交通が鶴見区内を走っていることを知っていましたか？（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	知っており、区内で利用したことがある	9	1.6 %
2	知っているが、区内で利用したことはない	192	33.2 %
3	知らない	377	65.1 %
4	無回答	1	0.2 %
合計		579	100 %



【全体】

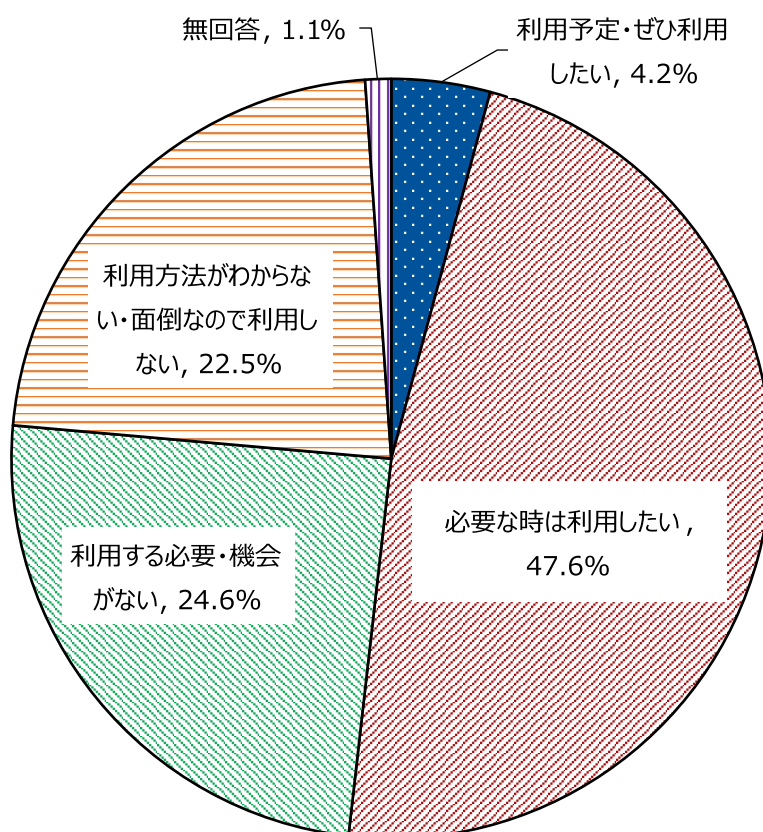
全体から見ると、「3 知らない」と答えた人が最も多く、65.1%となりました。

【年齢別】

年齢別に「3 知らない」と回答した割合を見ると、18～29 歳が 84.6%、次いで 70～79 歳が 70.8%、次いで 60～69 歳が 68.5%となっています。

問2 (問1で「2 知っているが区内で利用したことはない」又は「3 知らない」と回答された方へ)
 あなたは、社会実験の期間中に AI オンデマンド交通を利用したいと思いますか？（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	利用予定・ぜひ利用したい	24	4.2 %
2	必要な時は利用したい	271	47.6 %
3	利用する必要・機会がない	140	24.6 %
4	利用方法がわからない・面倒なので利用しない	128	22.5 %
5	無回答	6	1.1 %
合計		569	100 %



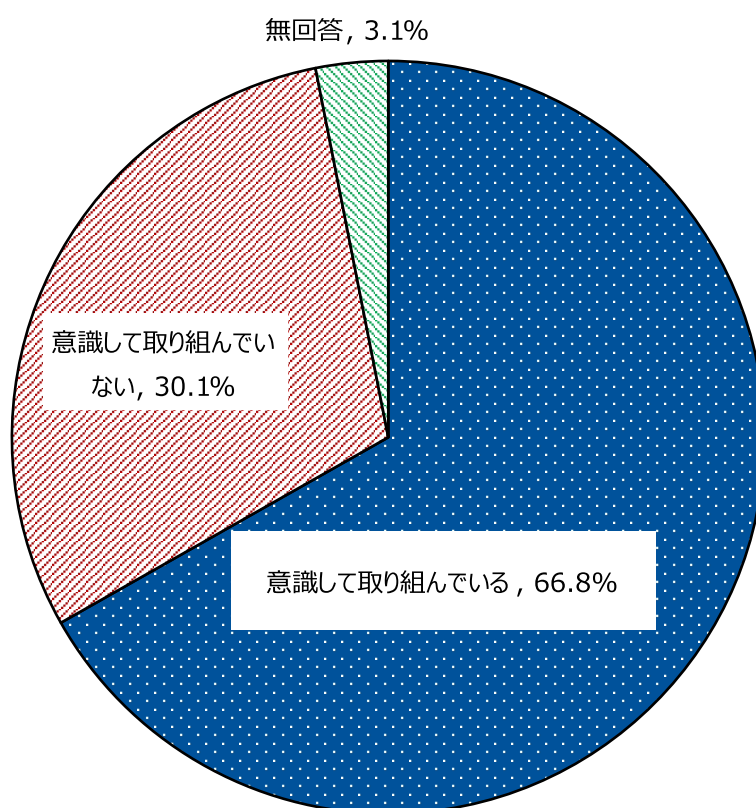
【全体】

全体から見ると、「2 必要な時は利用したい」と答えた人が最も多く、47.6%となりました。

2. SDGs、花や緑あふれるまちづくり等について

問3 鶴見区役所ではSDGsの周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近なSDGsもありますが、あなたは、日頃から意識してSDGsに取り組んでいますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	意識して取り組んでいる	387	66.8 %
2	意識して取り組んでいない	174	30.1 %
3	無回答	18	3.1 %
合計		579	100 %



【全体】

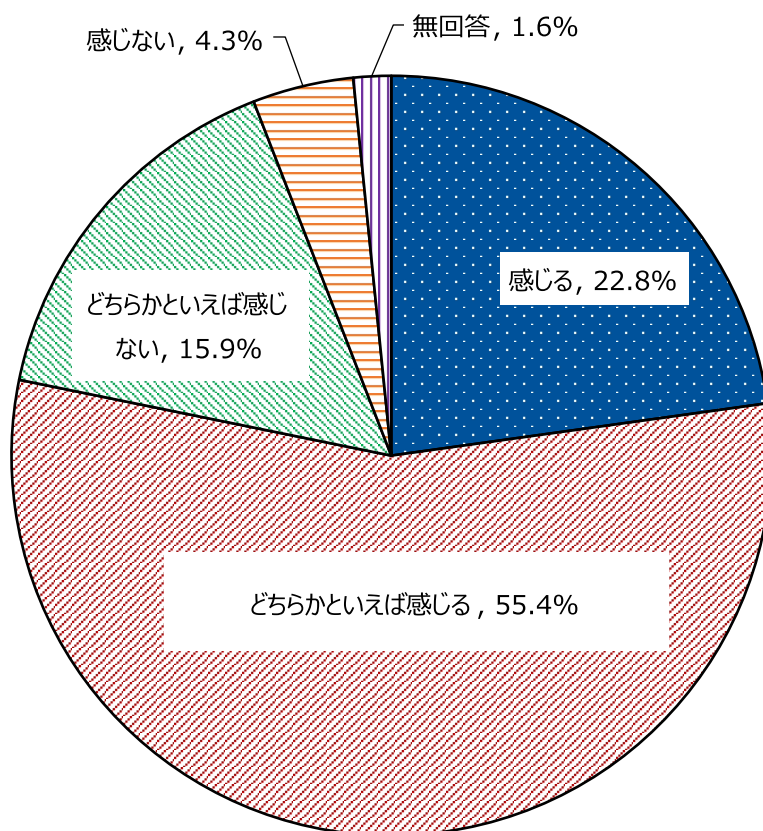
全体から見ると、「1 意識して取り組んでいる」と答えた人が多く、66.8%となりました。

【年齢別】

年齢別に「1 意識して取り組んでいる」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 77.6%、次いで 60～69 歳が 71.7%、次いで 40～49 歳が 65.7%となっています。

問 4 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。（1 つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	132	22.8 %
2	どちらかといえば感じる	321	55.4 %
3	どちらかといえば感じない	92	15.9 %
4	感じない	25	4.3 %
5	無回答	9	1.6 %
合計		579	100 %



【全体】

全体から見ると、「2 どちらかといえば感じる」と答えた人が最も多く、55.4%となりました。

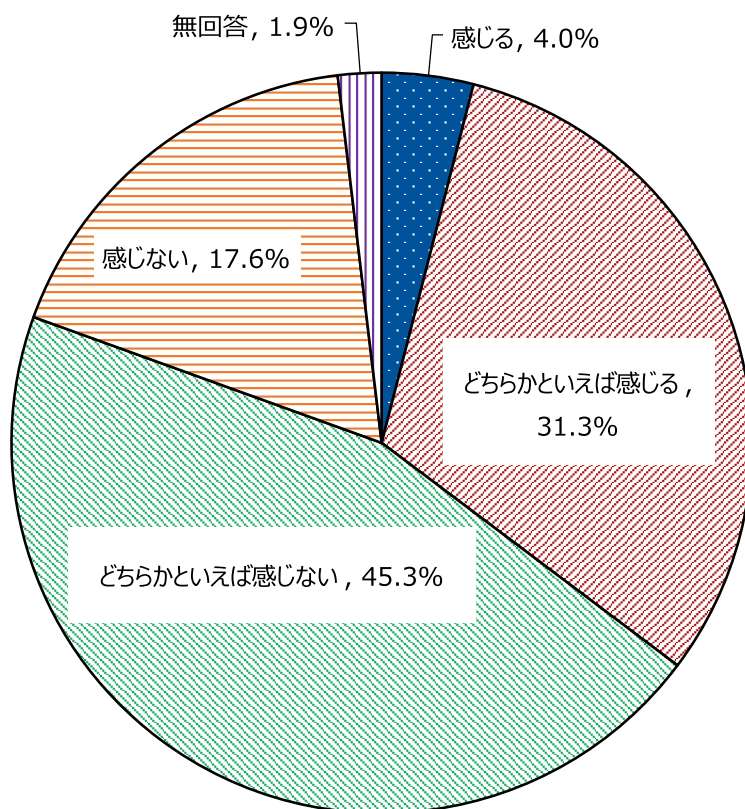
【年齢別】

年齢別に「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合を見ると、30～39 歳が 60.9%、次いで 50～59 歳が 60.5%、次いで 40～49 歳が 56.2%となっています。

3. まなびを通じたつながりづくりについて

問5 鶴見区役所では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。あなたは、鶴見区役所で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	23	4.0 %
2	どちらかといえば感じる	181	31.3 %
3	どちらかといえば感じない	262	45.3 %
4	感じない	102	17.6 %
5	無回答	11	1.9 %
合計		579	100 %



【全体】

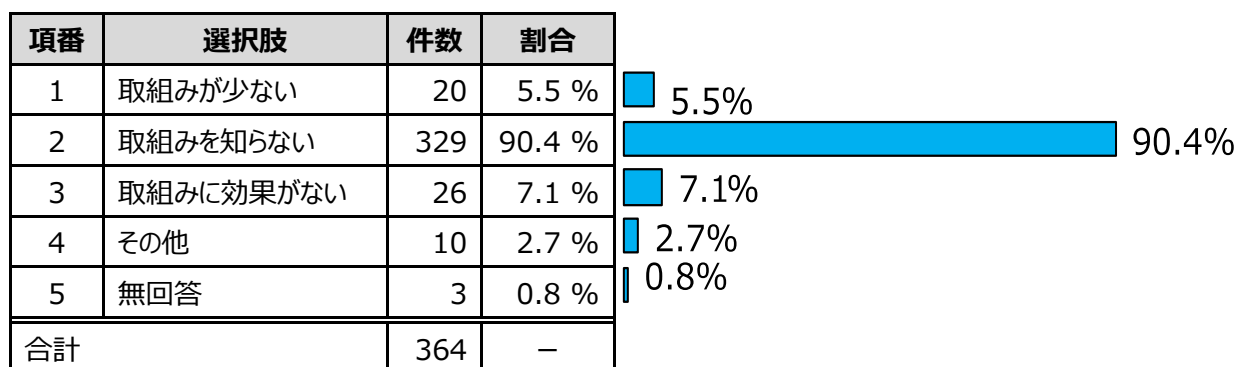
全体から見ると、「3 どちらかといえば感じない」と答えた人が最も多く、45.3%となりました。

【年齢別】

年齢別に「3 どちらかといえば感じない」と回答した割合を見ると、60～69 歳が 58.7%、次いで 70～79 歳が 47.2%、次いで 50～59 歳が 46.9%となっています。

問 6 （問 5 で「 3 どちらかといえば感じない」又は「 4 感じない」と回答された方へ）

あなたが、人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。（いくつでも選んでください）



【全体】

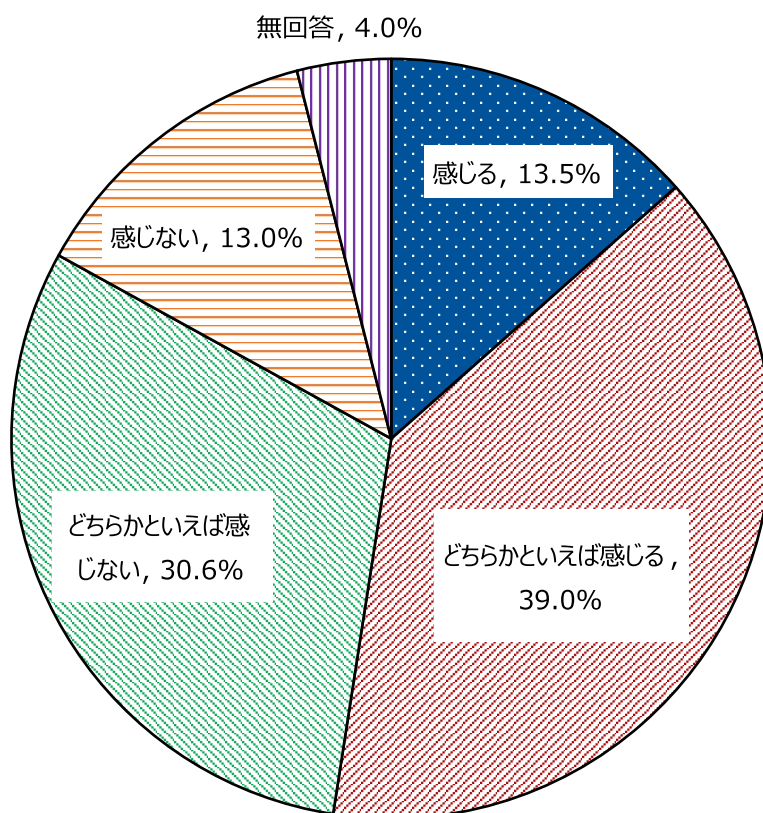
全体から見ると、「2 取組みを知らない」と答えた人が最も多く、90.4%となりました。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・古い団地に住んでいるが村八分にされている。
- ・人の事を考える余裕がない
- ・接点がない
- ・講演会には行きましたが、参加しない人はわからないと思う。
- ・身体障害者ですので

問7 鶴見区役所では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	78	13.5 %
2	どちらかといえば感じる	226	39.0 %
3	どちらかといえば感じない	177	30.6 %
4	感じない	75	13.0 %
5	無回答	23	4.0 %
合計		579	100 %



【全体】

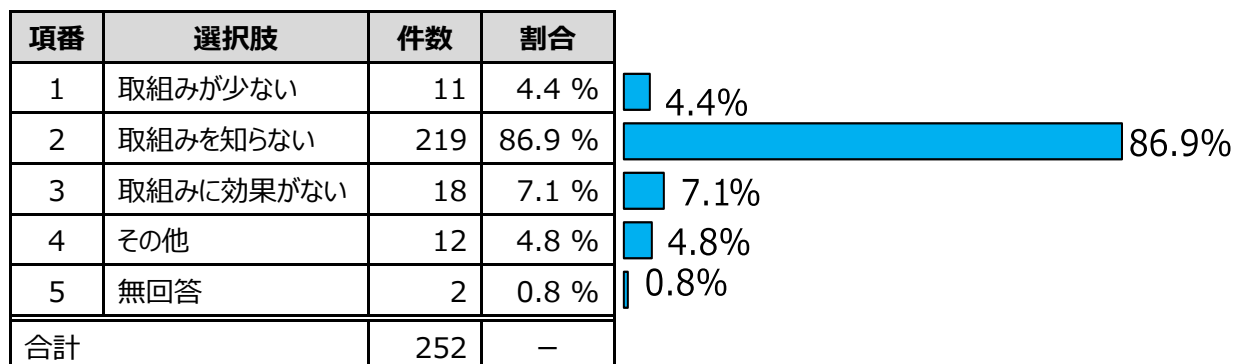
全体から見ると、「2 どちらかといえば感じる」と答えた人が最も多く、39.0%となりました。

【年齢別】

年齢別に「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 44.2%、次いで 60～69 歳が 43.5%、次いで 40～49 歳が 40.0%となっています。

問 8 (問 7 で「3 どちらかといえば感じない」又は「4 感じない」と回答された方へ)

あなたが、まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。(いくつでも選んでください)



【全体】

全体から見ると、「2 取組みを知らない」と答えた人が最も多く、86.9%となりました。

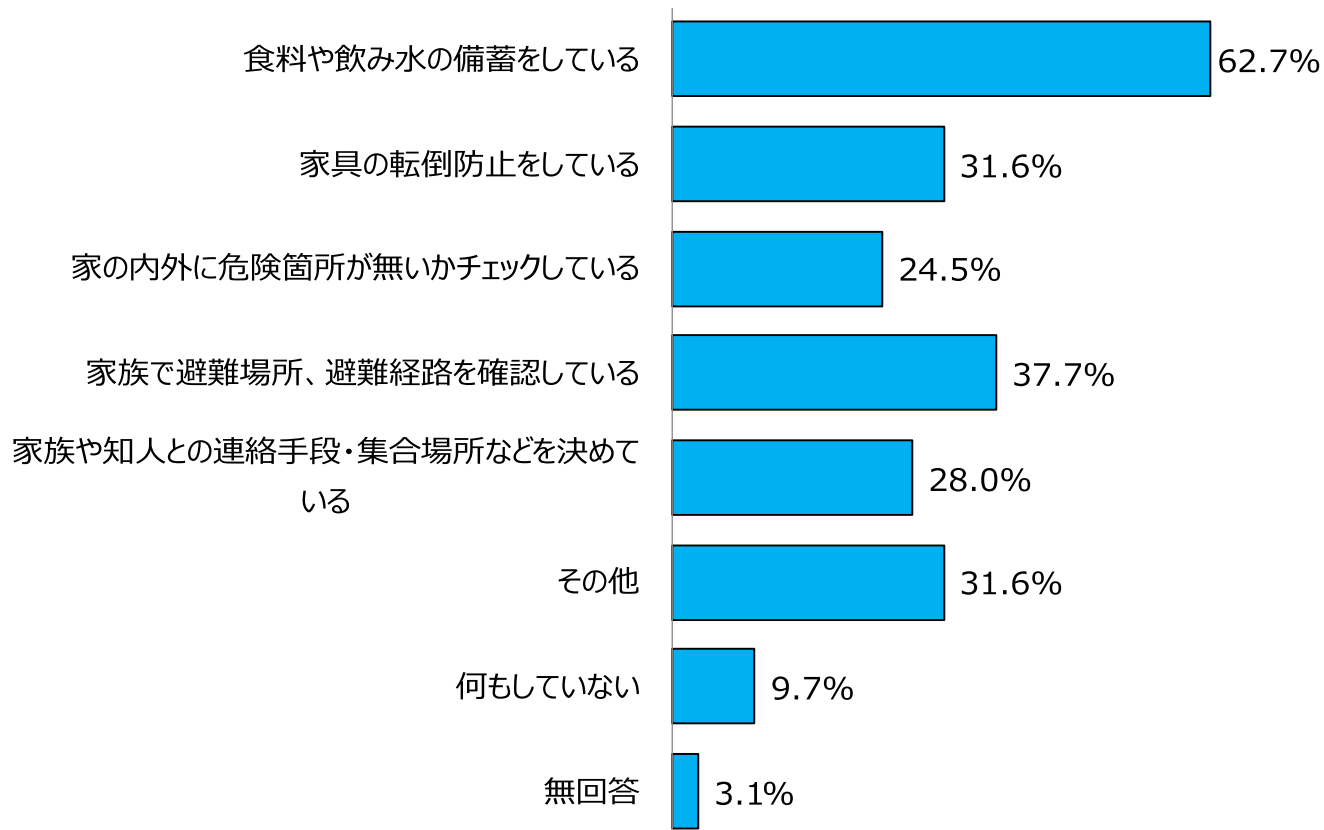
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・時間がない、仕事勤めしているから
- ・興味がわかないのと健康に自信がない為、コミュニケーションをとりたくない
- ・(バラエティーが少なく、また参加者同士をつなげる仕組みが足りない。いつも同じ広報手段しかなく、幅広く知られていないと思う。
- ・取り組みは知っているが参加する機会がない
- ・安心感がない

4. 地震・風水害等の災害について

問 9 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。(いくつでも選んでください)

項番	選択肢	件数	割合
1	食料や飲み水の備蓄をしている	363	62.7 %
2	家具の転倒防止をしている	183	31.6 %
3	家の内外に危険箇所が無いチェックしている	142	24.5 %
4	家族で避難場所、避難経路を確認している	218	37.7 %
5	家族や知人との連絡手段・集合場所などを決めている	162	28.0 %
6	その他	183	31.6 %
7	何もしていない	56	9.7 %
8	無回答	18	3.1 %
合計		579	—



【全体】

全体から見ると、「1 食料や飲み水の備蓄をしている」と答えた人が最も多く、62.7%となりました。

【年齢別】

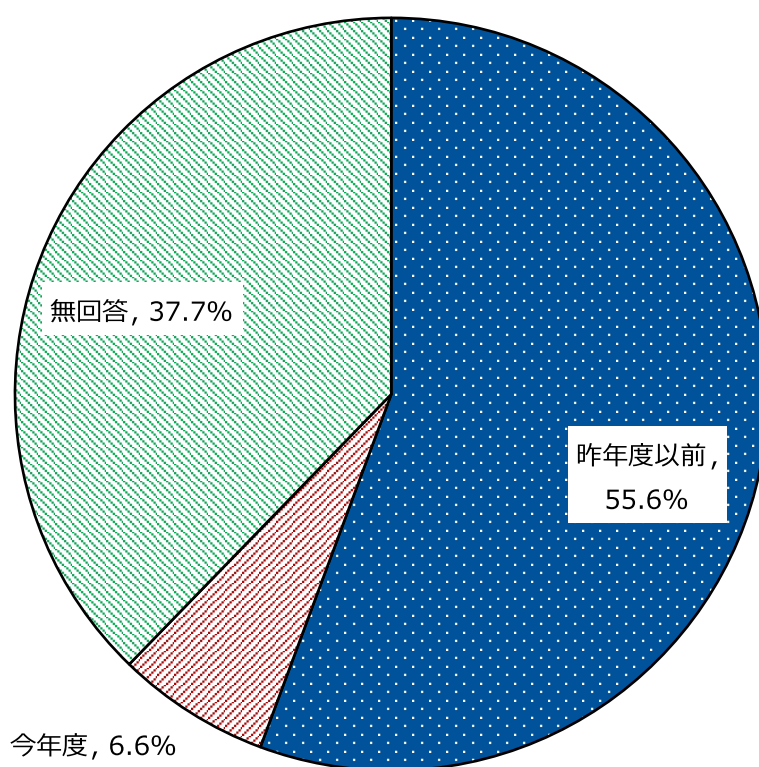
年齢別に「1 食料や飲み水の備蓄をしている」と回答した割合を見ると、30～39 歳が 66.3%、次いで 18～29 歳が 65.4%、次いで 40～49 歳が 64.8%となっています。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・ローリングストック 蓄電池 ひとりづつの避難リュック
- ・マンションで備蓄倉庫に期限で管理している数日分
- ・トイレ介護用品の備蓄
- ・避難所に行かず自宅でなんとかできるよう少し備えをしている。
- ・持ち出しリュックは作った。飲料、水は期限切れ購入予定あり

問9 選択 1 「食料や飲み水の備蓄をしている」の開始時期

項番	選択肢	件数	割合
1	昨年度以前	202	55.6 %
2	今年度	24	6.6 %
3	無回答	137	37.7 %
合計		363	100 %

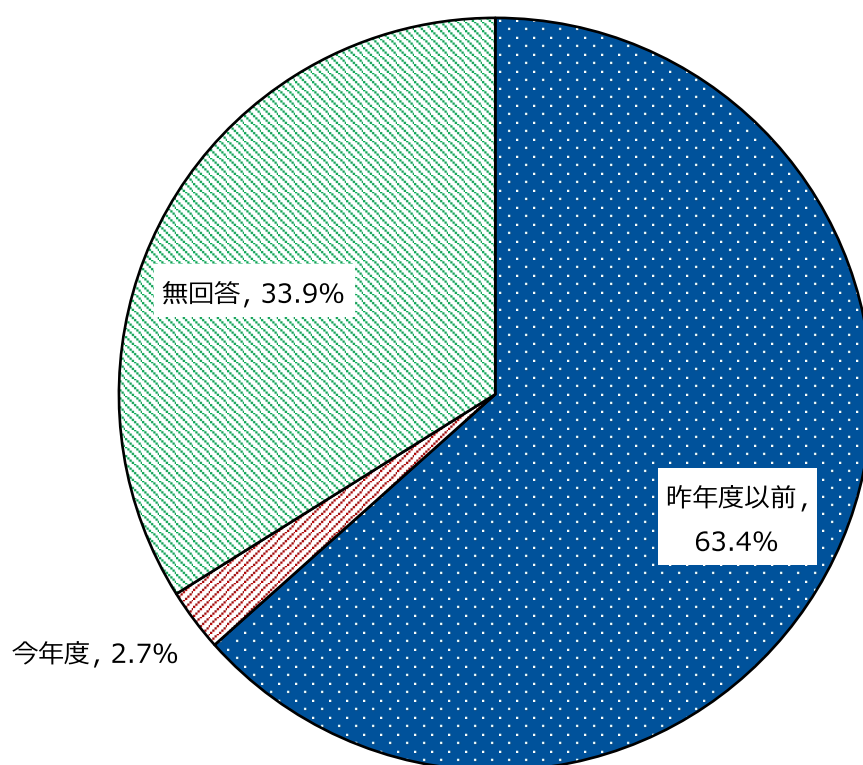


【全体】

全体から見ると、「1 昨年度以前」と答えた人が多く、55.6%となりました。

問9 選択2「家具の転倒防止をしている」の開始時期

項番	選択肢	件数	割合
1	昨年度以前	116	63.4 %
2	今年度	5	2.7 %
3	無回答	62	33.9 %
合計		183	100 %

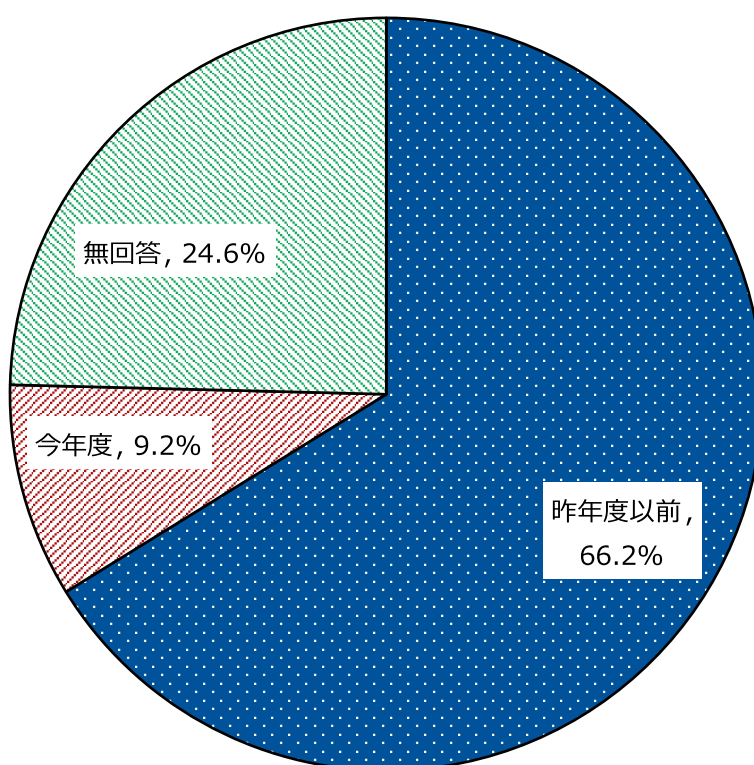


【全体】

全体から見ると、「1 昨年度以前」と答えた人が多く、63.4%となりました。

問 9 選択 3 「家の内外に危険箇所が無いかチェックしている」の開始時期

項番	選択肢	件数	割合
1	昨年度以前	94	66.2 %
2	今年度	13	9.2 %
3	無回答	35	24.6 %
合計		142	100 %

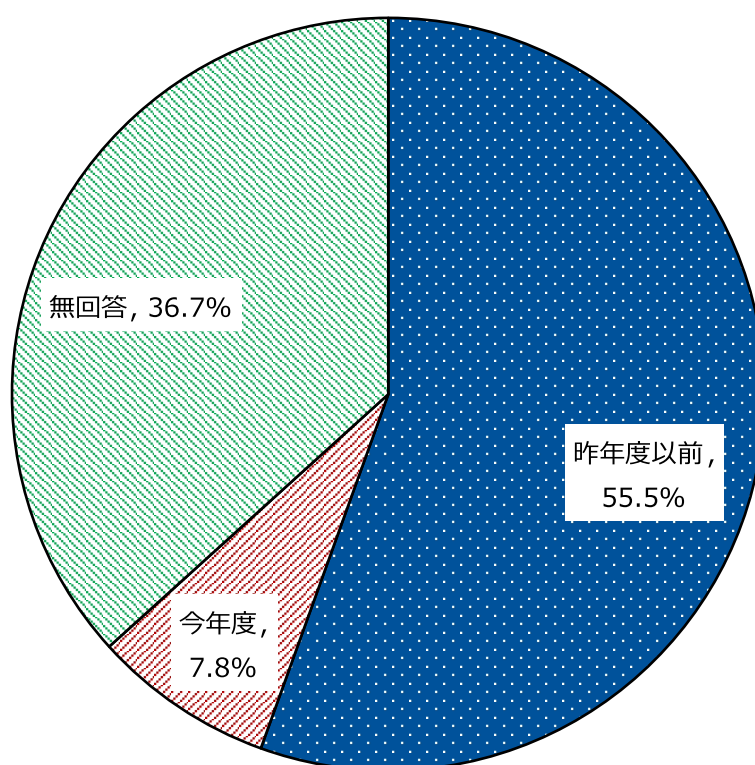


【全体】

全体から見ると、「1 昨年度以前」と答えた人が多く、66.2%となりました。

問 9 選択 4 「家族で避難場所、避難経路を確認している」の開始時期

項番	選択肢	件数	割合
1	昨年度以前	121	55.5 %
2	今年度	17	7.8 %
3	無回答	80	36.7 %
合計		218	100 %

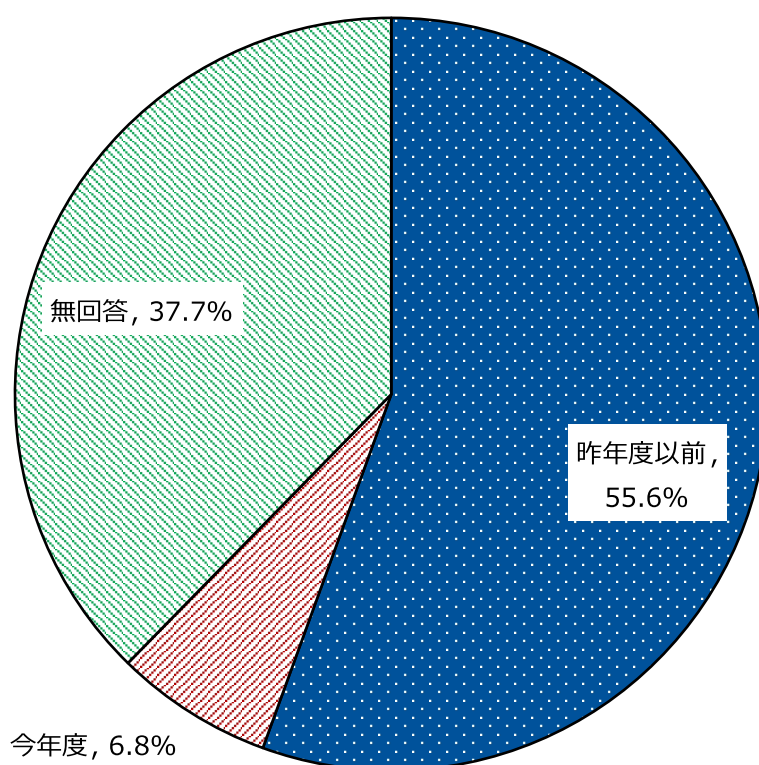


【全体】

全体から見ると、「1 昨年度以前」と答えた人が多く、55.5%となりました。

問9 選択 5 「家族や知人との連絡手段・集合場所などを決めている」の開始時期

項番	選択肢	件数	割合
1	昨年度以前	90	55.6 %
2	今年度	11	6.8 %
3	無回答	61	37.7 %
合計		162	100 %

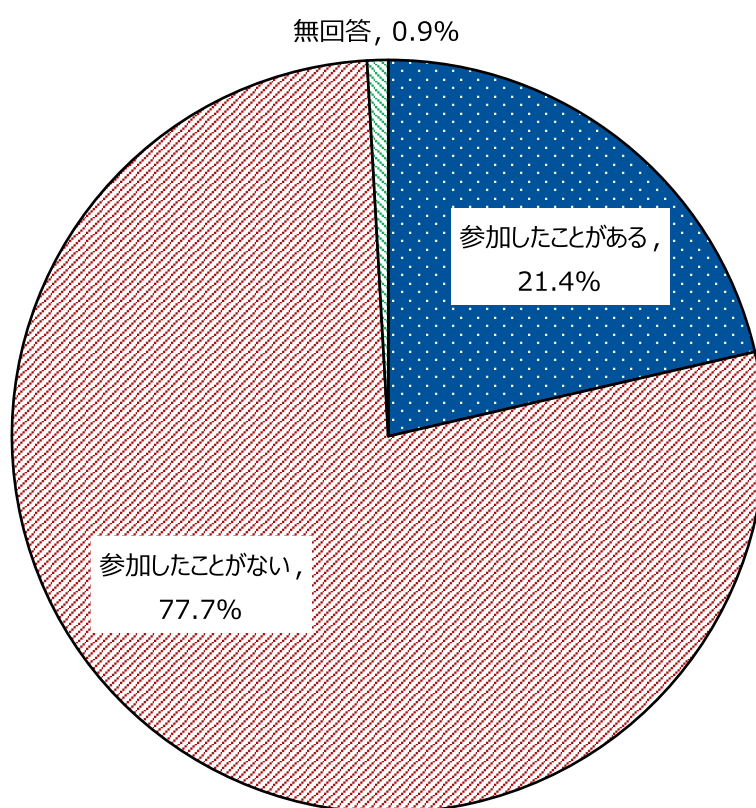


【全体】

全体から見ると、「1 昨年度以前」と答えた人が多く、55.6%となりました。

問 10 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	参加したことがある	124	21.4 %
2	参加したことがない	450	77.7 %
3	無回答	5	0.9 %
合計		579	100 %



【全体】

全体から見ると、「2 参加したことがない」と答えた人が多く、77.7%となりました。

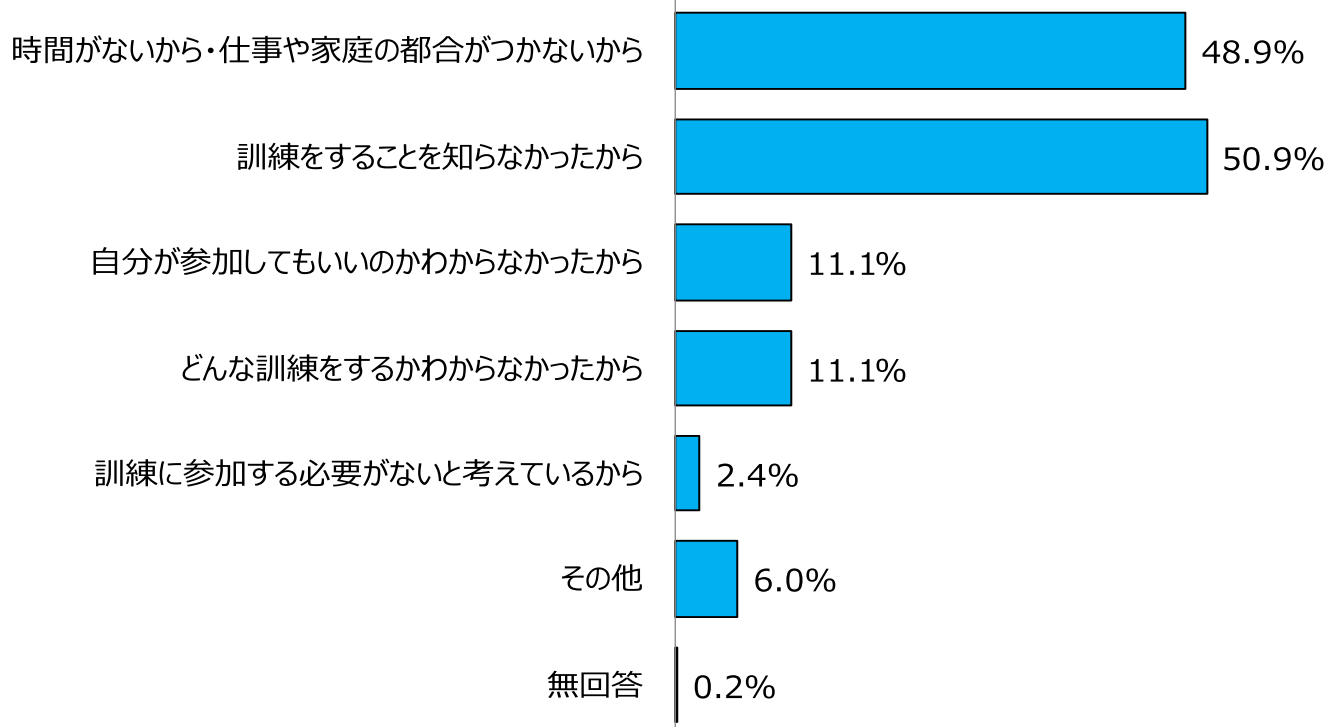
【年齢別】

年齢別に「2 参加したことがない」と回答した割合を見ると、30～39 歳が 90.2%、次いで 40～49 歳が 81.0%、次いで 60～69 歳が 77.2%となっています。

問 11 （問 10 で「2 参加したことがない」と回答された方へ）

あなたが、防災訓練に参加しない理由は何ですか？（いくつでも選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから	220	48.9 %
2	訓練をすることを知らなかったから	229	50.9 %
3	自分が参加してもいいのかわからなかったから	50	11.1 %
4	どんな訓練をするかわからなかったから	50	11.1 %
5	訓練に参加する必要があると考えているから	11	2.4 %
6	その他	27	6.0 %
7	無回答	1	0.2 %
合計		450	—



【全体】

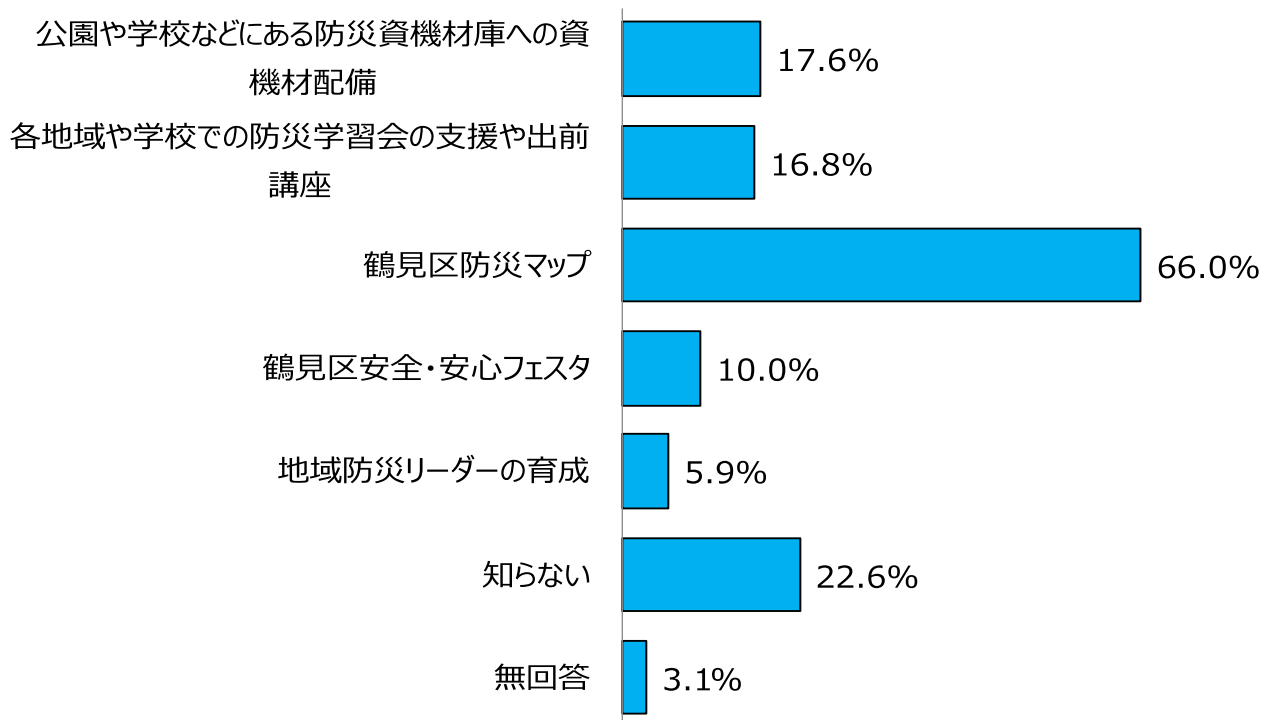
全体から見ると、「2 訓練をすることを知らなかったから」と答えた人が最も多く、50.9%となりました。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・足、腰、身体的に不安がある。
- ・訓練がいつあったのかも知らない
- ・知り合いがほとんどいてないので参加しにくいから
- ・土、日仕事の為
- ・今年引越してきたから

問 12 鶴見区役所では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたが知っている防災事業を選んでください。(いくつでも選んでください)

項番	選択肢	件数	割合
1	公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備	102	17.6 %
2	各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座	97	16.8 %
3	鶴見区防災マップ	382	66.0 %
4	鶴見区安全・安心フェスタ	58	10.0 %
5	地域防災リーダーの育成	34	5.9 %
6	知らない	131	22.6 %
7	無回答	18	3.1 %
合計		579	—



【全体】

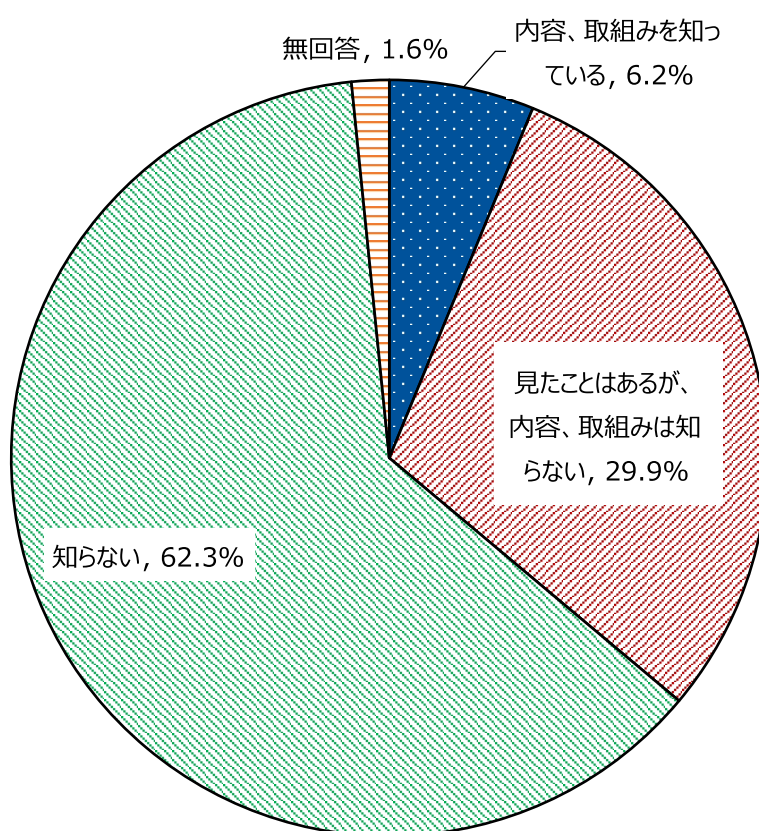
全体から見ると、「3 鶴見区防災マップ」と答えた人が最も多く、66.0%となりました。

【年齢別】

年齢別に「3 鶴見区防災マップ」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 71.4%、次いで 40～49 歳が 70.5%、次いで 70～79 歳が 69.7%となっています。

問 13 鶴見区役所では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。あなたは、「鶴見区防災計画」などの取組みを知っていますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	内容、取組みを知っている	36	6.2 %
2	見たことはあるが、内容、取組みは知らない	173	29.9 %
3	知らない	361	62.3 %
4	無回答	9	1.6 %
合計		579	100 %



【全体】

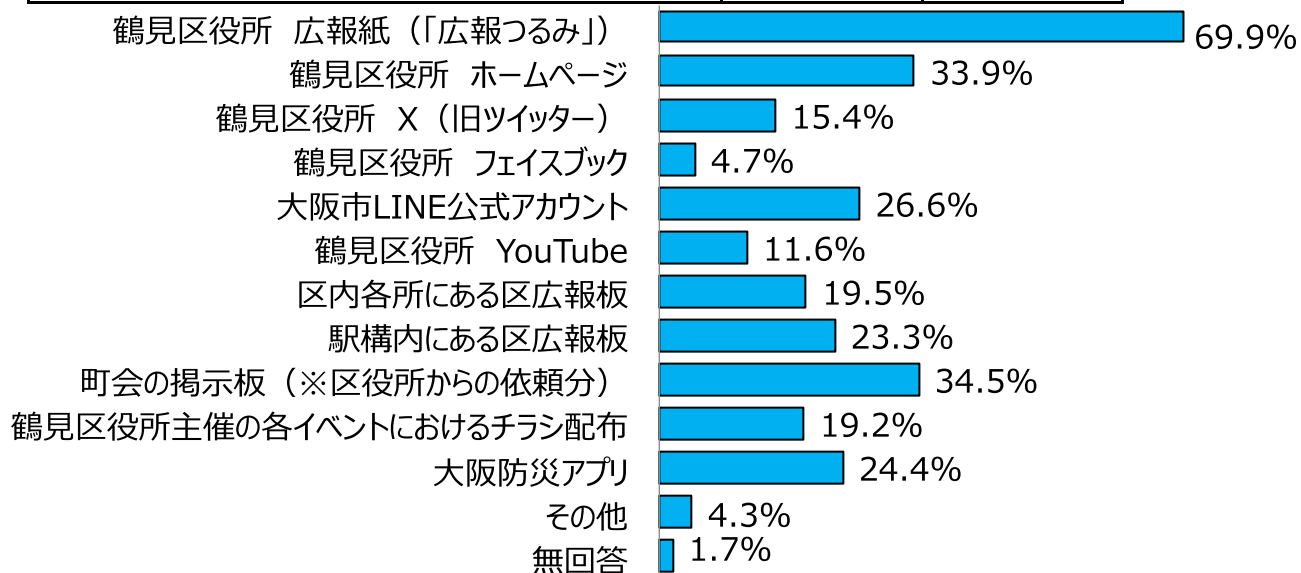
全体から見ると、「3 知らない」と答えた人が最も多く、62.3%となりました。

【年齢別】

年齢別に「3 知らない」と回答した割合を見ると、30～39 歳が 76.1%、次いで 18～29 歳が 71.2%、次いで 50～59 歳が 64.6%となっています。

問 14 鶴見区役所では、大阪防災アプリの活用推奨をはじめ、さまざまな媒体を用いて防災に関する情報発信を行っています。あなたが防災に関する発信方法で有効だと思う媒体を選んでください。（いくつでも選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	鶴見区役所 広報紙（「広報つるみ」）	405	69.9 %
2	鶴見区役所 ホームページ	196	33.9 %
3	鶴見区役所 X（旧ツイッター）	89	15.4 %
4	鶴見区役所 フェイスブック	27	4.7 %
5	大阪市 LINE 公式アカウント	154	26.6 %
6	鶴見区役所 YouTube	67	11.6 %
7	区内各所にある区広報板	113	19.5 %
8	駅構内にある区広報板	135	23.3 %
9	町会の掲示板（※区役所からの依頼分）	200	34.5 %
10	鶴見区役所主催の各イベントにおけるチラシ配布	111	19.2 %
11	大阪防災アプリ	141	24.4 %
12	その他	25	4.3 %
13	無回答	10	1.7 %
合計		579	—



【全体】

全体から見ると、「1 鶴見区役所 広報紙（「広報つるみ」）」と答えた人が最も多く、69.9%となりました。

【年齢別】

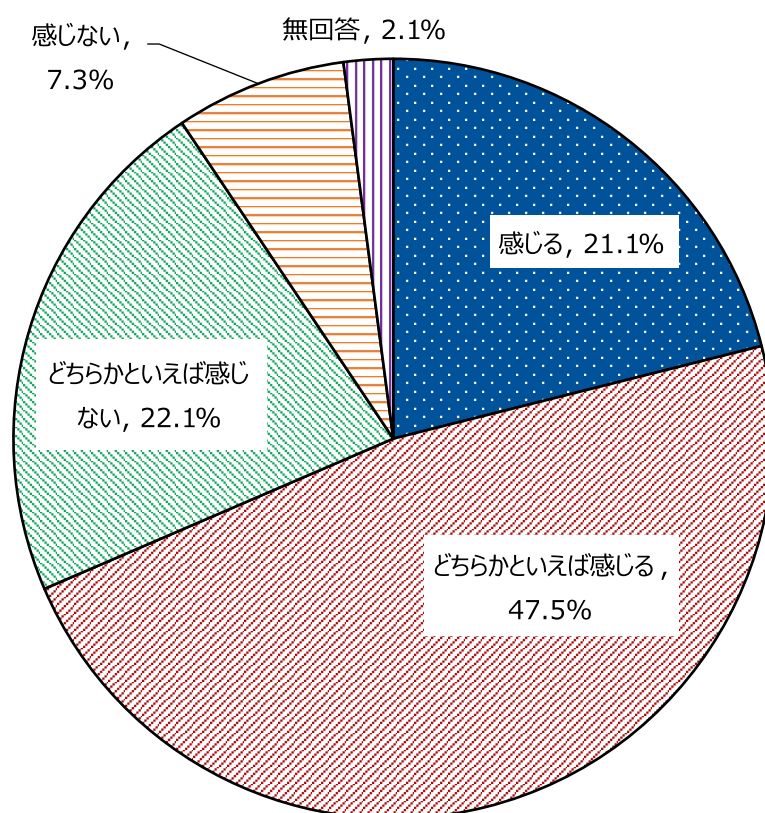
年齢別に「1 鶴見区役所広報紙（「広報つるみ」）」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 79.6%、次いで 60～69 歳が 76.1%、次いで 70～79 歳が 73.0%となっています。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・ネットができない人の事をとりのこさないで下さい。
- ・子供が小学生なので、学校で手紙配布して下さると確実に目を通します
- ・地上テレビなどで定期配信。防災に対応できるような情報
- ・自分から見に行くことはないので自分宛の郵便に同封
- ・マンション内の玄関すぐ横など目立つ所への掲示板を活用

問 15 あなたは、鶴見区役所で実施している取組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	122	21.1 %
2	どちらかといえば感じる	275	47.5 %
3	どちらかといえば感じない	128	22.1 %
4	感じない	42	7.3 %
5	無回答	12	2.1 %
合計		579	100 %



【全体】

全体から見ると、「2 どちらかといえば感じる」と答えた人が最も多く、47.5%となりました。

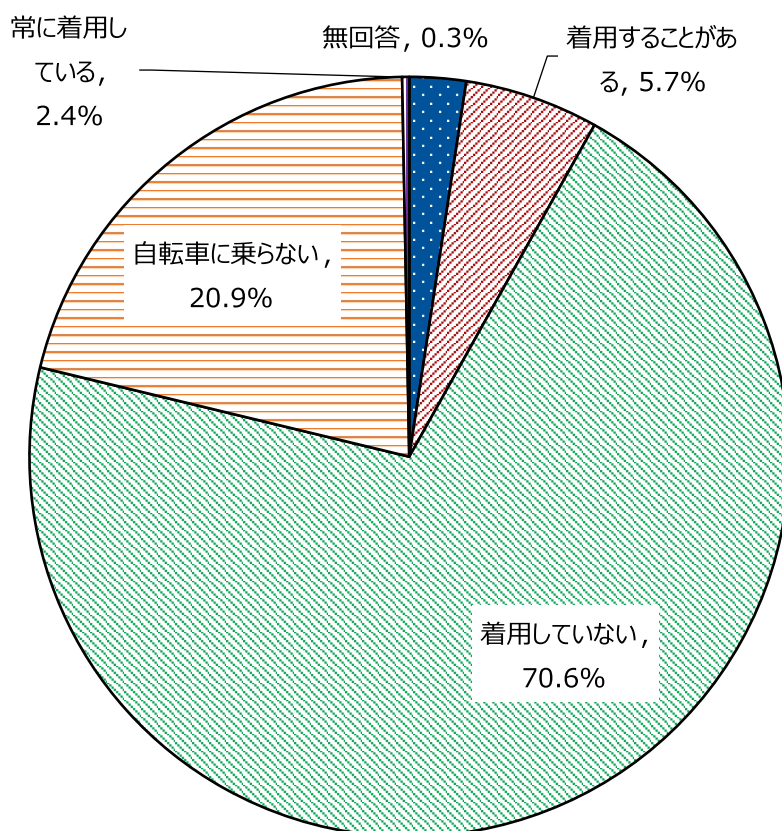
【年齢別】

年齢別に「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合を見ると、40～49 歳が 55.2%、次いで 50～59 歳が 49.7%、次いで 18～29 歳が 48.1%となっています。

5. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 16 令和 5 年度より自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。あなたは、自転車に乗る時にヘルメットを着用していますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	常に着用している	14	2.4 %
2	着用することがある	33	5.7 %
3	着用していない	409	70.6 %
4	自転車に乗らない	121	20.9 %
5	無回答	2	0.3 %
合計		579	100 %



【全体】

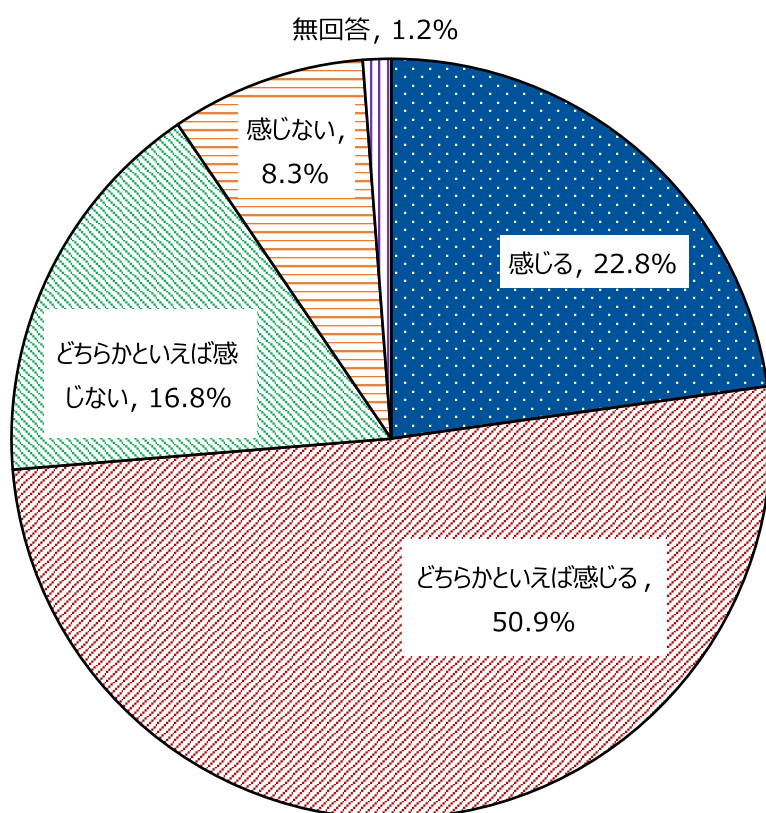
全体から見ると、「3 着用していない」と答えた人が最も多く、70.6%となりました。

【年齢別】

年齢別に「3 着用していない」と回答した割合を見ると、50～59 歳が 81.6%、次いで 40～49 歳が 79.0%、次いで 18～29 歳が 73.1%となっています。

問 17 鶴見区役所では、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	132	22.8 %
2	どちらかといえば感じる	295	50.9 %
3	どちらかといえば感じない	97	16.8 %
4	感じない	48	8.3 %
5	無回答	7	1.2 %
合計		579	100 %



【全体】

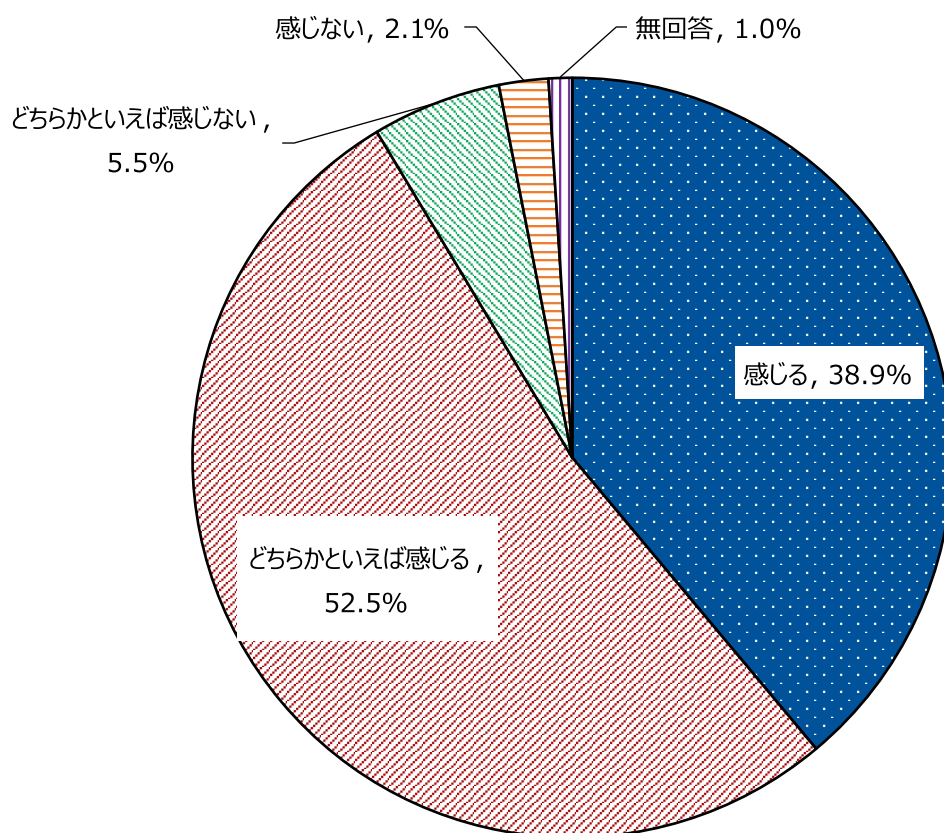
全体から見ると、「2 どちらかといえば感じる」と答えた人が最も多く、50.9%となりました。

【年齢別】

年齢別に「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合を見ると、60～69 歳が 57.6%、次いで 50～59 歳が 57.1%、次いで 70～79 歳が 51.7%となっています。

問 18 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	感じる	225	38.9 %
2	どちらかといえば感じる	304	52.5 %
3	どちらかといえば感じない	32	5.5 %
4	感じない	12	2.1 %
5	無回答	6	1.0 %
合計		579	100 %



【全体】

全体から見ると、「2 どちらかといえば感じる」と答えた人が最も多く、52.5%となりました。

【年齢別】

年齢別に「2 どちらかといえば感じる」と回答した割合を見ると、60～69 歳が 60.9%、次いで 40～49 歳が 56.2%、次いで 50～59 歳が 54.4%となっています。

6. 鶴見区全般について

問 19 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

【防犯対策・見守りの強化】

- ・防犯カメラの設置や増設を求める意見がある
- ・警察や地域によるパトロール強化を望む声がある
- ・子どもの登下校時の見守りを求める意見がある
- ・夜間の治安や不審者対策への不安が示されている
- ・犯罪抑止のため地域での見守り活動を望む意見がある

【街灯・夜間の安全確保】

- ・暗い道路や夜道への不安が指摘されている
- ・街灯の増設を求める声がある
- ・ウォーキングや通行時の安全性の向上を求める意見がある
- ・夜間の視認性向上による安心感を求めている
- ・街灯不足が安全性に影響するという意見がある

【交通安全・自転車問題】

- ・自転車の危険運転に対する不安が示されている
- ・自転車専用レーンや道路整備を求める意見がある
- ・歩道の安全性向上を求める声がある
- ・交通ルールの徹底や取締りを望む意見がある
- ・道路の危険箇所改善を求める意見がある

【地域コミュニティ・住民交流】

- ・地域住民同士のつながりを求める意見がある
- ・町内会活動の活性化を望む声がある
- ・地域イベントなどの開催を求める意見がある
- ・挨拶や交流の機会を増やす提案がある
- ・マンション住民など地域交流の機会不足への不安がある

【子育て支援】

- ・保育施設や子育て支援の充実を求める意見がある
- ・子どもが安心して生活できる環境づくりを望む声がある
- ・子どもの遊び場や安全対策を求める意見がある
- ・子どもの見守り体制の強化を望む声がある
- ・育児支援制度の拡充を求める意見がある

【高齢者・弱者支援】

- ・高齢者への支援体制強化を求める意見がある
- ・高齢者の生活支援や見守りを求める声がある

- ・障がい者や弱者への配慮を求める意見がある
- ・高齢化社会への対応を求める声がある
- ・相談や支援体制の充実を求める意見がある

【まちの環境整備・美化】

- ・道路や歩道の整備を求める意見がある
- ・街の清掃や美化を求める声がある
- ・草木の管理や景観整備を求める意見がある
- ・公園など公共空間の整備を求める声がある
- ・ごみ問題や環境改善への意見がある

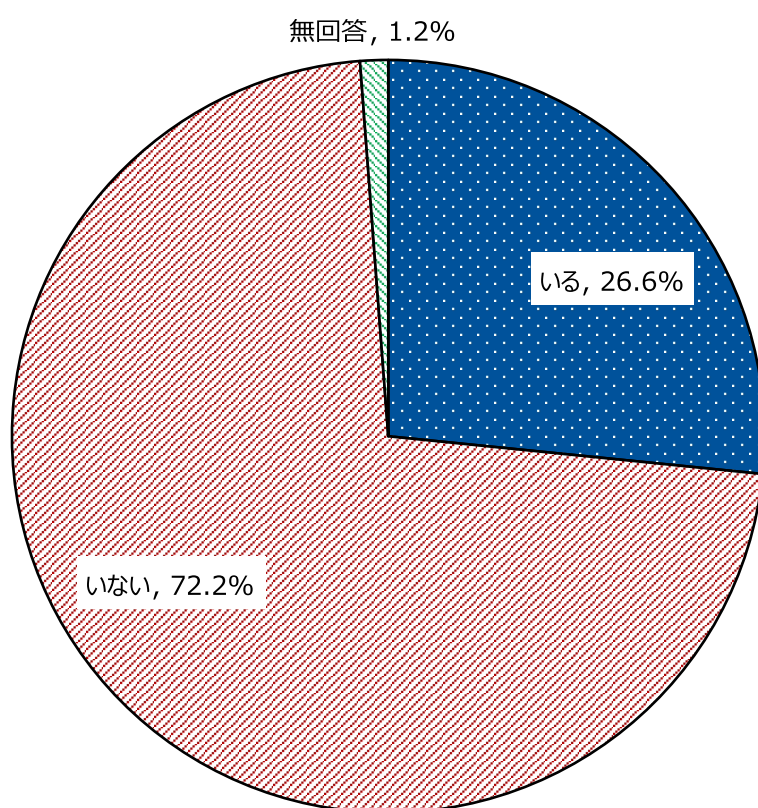
【情報発信・行政の周知】

- ・行政の取り組みが住民に十分伝わっていないという意見がある
- ・情報発信の方法改善を求める声がある
- ・SNS やインターネットを活用した情報発信の提案がある
- ・住民が情報を得やすい仕組みを求める意見がある
- ・公共施設や駅などでの情報提供を求める声がある

7. あなたご自身について

問 22 あなたの世帯に、現在中学生以下のお子さまはいますか。（1つ選んでください）

項番	選択肢	件数	割合
1	いる	154	26.6 %
2	いない	418	72.2 %
3	無回答	7	1.2 %
合計		579	100 %



【全体】

全体から見ると、「2 いない」と答えた人が多く、72.2%となりました。

【年齢別】

年齢別に「2 いない」と回答した割合を見ると、60～69 歳が 97.8%、次いで 70～79 歳が 93.3%、次いで 18～29 歳が 82.7%となっています。

Ⅲ 調査票

第2回 鶴見区民アンケート

- 質問ごとに選択肢から該当する答えを選び、□に ✓ をつけてください。
- 「その他」については、() に具体的な内容を記入してください。

貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。



1. AI オンデマンド交通の社会実験について

問1 鶴見区内で AI オンデマンド交通(※)の社会実験が始まっています。

(令和7年10月28日から令和8年10月27日まで。最長3年間。)

あなたは AI オンデマンド交通が鶴見区内を走っていることを
知っていましたか？(1つ選んでください)



鶴見区の運行エリア

※AI オンデマンド交通……時刻表に沿って決まったルート走るのではなく、**利用者の予約に応じて AI が最適な運行ルートをリアルタイムに設定して走行する乗合輸送サービス**です。車いす利用の方も利用可能です。

- | | |
|--|----------|
| ☐ 1 知っており、区内で利用したことがある | (⇒問3へ) |
| ☐ 2 知っているが、区内で利用したことはない | } (⇒問2へ) |
| ☐ 3 知らない | |

問2は、問1で「2 知っているが区内で利用したことはない」又は「3 知らない」と回答された方のみお答えください。

問2 あなたは、社会実験の期間中に AI オンデマンド交通を利用したいと思いますか？
(1つ選んでください)

- ☐ 1 利用予定・ぜひ利用したい
- ☐ 2 必要な時は利用したい
- ☐ 3 利用する必要・機会がない
- ☐ 4 利用方法がわからない・面倒なので利用しない



オンデマンドバス予約ページ



走行車両
©Osaka Metro Group

2. SDGs、花や緑あふれるまちづくり等について

問3 鶴見区役所では SDG s (※)の周知・広報に取り組んでいます。家庭でできる身近な SDG s もありますが、あなたは、日頃から意識して SDG s に取り組んでいますか。

(1つ選んでください)

- ☐ 1 意識して取り組んでいる
☐ 2 意識して取り組んでいない



※SDGs とは

未来のために地球上のさまざまな問題の解決をめざす、世界共通の 17 の目標のことで、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。2030 年までに世界中の国がひとつになって達成することをめざしています。

【SDGs に関連する取組例】

- ・ ごみの分別をきちんとする
- ・ 買い替える際には、省エネ型の機種や電球を選択する
- ・ 水や電気の無駄使いを減らす
- ・ 冷蔵庫を確認し、食品ロスを減らす努力をする
- ・ 油分を拭き取ってから食器を洗う
- ・ なるべく地元産の食材を買う（地産地消） など

問4 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 感じる
☐ 2 どちらかといえば感じる
☐ 3 どちらかといえば感じない
☐ 4 感じない



3. まなびを通じたつながりづくりについて

問5 鶴見区役所では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。

あなたは、鶴見区役所で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。

(1つ選んでください)

- ☐ 1 感じる
☐ 2 どちらかといえば感じる
☐ 3 どちらかといえば感じない
☐ 4 感じない
- } (⇒問7へ)
 } (⇒問6へ)

問6は、問5で「3 どちらかといえば感じない」又は「4 感じない」と回答された方のみお答えください。

問6 あなたが、人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。

(いくつでも選んでください) (⇒問7へ)

- ☐ 1 取組みが少ない ☐ 2 取組みを知らない
☐ 3 取組みに効果がない ☐ 4 その他 ()

問7 鶴見区役所では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舍つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。

あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。(1つ選んでください)

- ☐ 1 感じる } (⇒問9へ)
☐ 2 どちらかといえば感じる }
☐ 3 どちらかといえば感じない } (⇒問8へ)
☐ 4 感じない }



問8は、問7で「3 どちらかといえば感じない」又は「4 感じない」と回答された方のみお答えください。

問8 あなたが、まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。

(いくつでも選んでください) (⇒問9へ)

- ☐ 1 取組みが少ない ☐ 2 取組みを知らない
☐ 3 取組みに効果がない ☐ 4 その他 ()

4. 地震・風水害等の災害について

問9 あなたは、備蓄などいざという時に備えていますか。(いくつでも選んでください。また

【開始時期】も✓してください) ※「昨年度以前」は令和7(2025)年3月末以前、「今年度」は令和7(2025)年4月以降

- ☐ 1 食料や飲み水の備蓄を【 ☐ 昨年度以前 ☐ 今年度 】からしている
☐ 2 家具の転倒防止を【 ☐ 昨年度以前 ☐ 今年度 】からしている
☐ 3 家の内外に危険箇所が無い【 ☐ 昨年度以前 ☐ 今年度 】からチェックしている
☐ 4 家族で避難場所、避難経路を【 ☐ 昨年度以前 ☐ 今年度 】から確認している
☐ 5 家族や知人との連絡手段・集合場所などを【 ☐ 昨年度以前 ☐ 今年度 】から決めている
☐ 6 その他 ()
☐ 7 何もしていない

問 10 鶴見区では、小学校区単位で地域のさまざまな課題解決のため「地域活動協議会」が活動しており、地域防災力向上のため、学校や公園などで防災訓練を実施しています。
あなたは、これまで鶴見区内で開催された防災訓練に参加したことがありますか。
(1つ選んでください)

- ☐ 1 参加したことがある (⇒問 12 へ)
- ☐ 2 参加したことがない (⇒問 11 へ)

問 11 は、問 10 で「2 参加したことがない」と回答された方のみお答えください。

問 11 あなたが、防災訓練に参加しない理由は何ですか？
(いくつでも選んでください) (⇒問 12 へ)

- ☐ 1 時間がないから・仕事や家庭の都合がつかないから
- ☐ 2 訓練をすることを知らなかったから
- ☐ 3 自分が参加してもいいのかわからなかったから
- ☐ 4 どんな訓練をするかわからなかったから
- ☐ 5 訓練に参加する必要があると考えているから
- ☐ 6 その他 ()



問 12 鶴見区役所では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたが知っている防災事業を選んでください。(いくつでも選んでください)

- ☐ 1 公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備
(可搬式ポンプや救助資機材など)
- ☐ 2 各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座
- ☐ 3 鶴見区防災マップ
- ☐ 4 鶴見区安全・安心フェスタ
- ☐ 5 地域防災リーダー(※)の育成
- ☐ 6 知らない

※地域防災リーダーとは

災害時の初期初動において、消火・救出救護活動を行う地域のリーダーとして、平時より訓練や啓発活動に取り組む方々です。



問 13 鶴見区役所では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。

あなたは、「鶴見区防災計画」などの取組みを知っていますか。（１つ選んでください）

- ☐ 1 内容、取組みを知っている
- ☐ 2 見たことはあるが、内容、取組みは知らない
- ☐ 3 知らない



こちらから
確認できます

問 14 鶴見区役所では、大阪防災アプリの活用推奨をはじめ、さまざまな媒体を用いて防災に関する情報発信を行っています。

あなたが防災に関する発信方法で有効だと思う媒体を選んでください。

(いくつでも選んでください)

- ☐ 1 鶴見区役所 **広報紙**（「広報つるみ」）
- ☐ 2 鶴見区役所 **ホームページ**
- ☐ 3 鶴見区役所 **X**（旧ツイッター）
- ☐ 4 鶴見区役所 **フェイスブック**
- ☐ 5 大阪市 **LINE 公式アカウント**
- ☐ 6 鶴見区役所 **YouTube**
- ☐ 7 **区内各所にある区広報板**
- ☐ 8 **駅構内にある区広報板**
- ☐ 9 **町会の掲示板**（※区役所からの依頼分）
- ☐ 10 鶴見区役所主催の**各イベントにおけるチラシ配布**
- ☐ 11 **大阪防災アプリ**
- ☐ 12 その他（



問 15 **あなたは、鶴見区役所で実施している取組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。（1つ選んでください）**

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない

5. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 16 令和 5 年度より自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。

あなたは、自転車に乗る時にヘルメットを着用していますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 常に着用している
- ☐ 2 着用することがある
- ☐ 3 着用していない
- ☐ 4 自転車に乗らない



問 17 鶴見区役所では、さまざまな防犯事業(※)に取り組んでいます。

あなたは、鶴見区が実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。（1つ選んでください）

※鶴見区役所が実施している防犯事業

- ・ 自転車ひったくり防止カバーキャンペーン
- ・ 防犯カメラの設置・街路防犯灯の助成
- ・ 毎月 26 日の自転車盗難防止啓発のための 2 重（ツー）ロックキャンペーン
- ・ 青色防犯パトロール車による巡回
- ・ 小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日一斉行動

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない

問 18 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 感じる
- ☐ 2 どちらかといえば感じる
- ☐ 3 どちらかといえば感じない
- ☐ 4 感じない



6. 鶴見区全般について

問 19 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

7. あなたご自身について

問 20 あなたの性別をお答えください。（1つ選んでください）

- ☐ 1 男性 ☐ 2 女性 ☐ 3 その他

問 21 あなたの年齢をお答えください。（1つ選んでください）

- ☐ 1 30 歳未満 ☐ 2 30～39 歳 ☐ 3 40～49 歳
☐ 4 50～59 歳 ☐ 5 60～69 歳 ☐ 6 70 歳以上

問 22 あなたの世帯に、現在中学生以下のお子さまはいますか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 いる ☐ 2 いない

問 23 あなたのお住まいの地域をお答えください。（1つ選んでください）

- ☐ 1 緑地域（みどり小学校区、新森小路小学校区）
☐ 2 鶴見北地域（鶴見小学校区） ☐ 3 鶴見地域（鶴見南小学校区）
☐ 4 榎本地域（榎本小学校区） ☐ 5 今津地域（今津小学校区）
☐ 6 茨田南地域（茨田南小学校区） ☐ 7 茨田地域（茨田小学校区）
☐ 8 茨田東地域（茨田東小学校区） ☐ 9 茨田北地域（茨田北小学校区）
☐ 10 焼野地域（焼野小学校区） ☐ 11 茨田西地域（茨田西小学校区）
☐ 12 横堤地域（横堤小学校区） ☐ 13 分からない

問 24 あなたは、鶴見区にお住まいになって何年ですか。（1つ選んでください）

- ☐ 1 1 年未満
- ☐ 2 1 年以上 5 年未満
- ☐ 3 5 年以上 10 年未満
- ☐ 4 10 年以上

ご協力ありがとうございました



お手数ですが **令和 8 年 1 月 14 日（水）** までに、
この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

鶴見区役所からのお知らせ

ご希望の情報が届きます！



大阪市 LINE 公式アカウント

大阪市 LINE 公式アカウントでは、
生活に役立つ情報を発信しています。
15種類のカテゴリーから受信を希望する
カテゴリーをチェックすれば、欲しい情報が
届きます！※お住まいの区も選択可能

ぜひ友だち登録を！



登録はこちらから▶



※LINE画面 イメージ

